

活動名	市民協働による省エネ手作り玩具工作の普及と環境美化	団体名	晴海町・青壮会
		地域	広島県呉市
		代表者	会長 山本 正
		支援金額	23万円
活動概要			
<p>青壮会設立後6年目の活動として、手作り玩具の工作教室を中心に「作って遊ぼう」、「親子で作って親子で遊ぼう」をキャッチフレーズに、市民協働を活用しながら精力的に展開しました。具体的には新型糸引きコマの開発や、旧作品のブラッシュアップに取り組みながら工作教室15回実施、工作玩具の遊び体験コーナーを19会場で延べ1500日開催など活動範囲を拡大して玩具工作普及に努力しました。</p> <p>工作教室活動の新しい展開として校区外の放課後教室から要請を受けて実施した40人規模の教室(蒲田ンボ工作)が大好評で次年度以降も継続が決定しています。</p> <p>また貸し出し工作玩具を教材とした遊び体験授業等が好評で現在も小学校や公民館、児童館など10会場で子供達が遊んでいます。ものづくり大好きな子供達を育成するために地域のボランティアスタッフを中心に市民協働を活かしたネットワークづくりにも着手しました。青壮会の玩具工作普及活動はその継続と充実が期待されています。</p> <p>◆実施時期 2010年4月1日～2011年3月31日 ・青壮会海岸作業所を中心とした町内及び港町小学校、他 ・呉市民協働センター、市内公民館及び呉市主催のイベント会場他</p> <p>◆参加人数 学校工作教室関連:800 ・こども祭り:600 ・エコフェスタ:300 ・その他のイベント会場他:900 ・小学校、公民館等の玩具遊び体験:3,800</p> <p>参加総人員:6,400名 小学生の工作教室参加人数(内数):450名</p>			



呉第三地区とんど祭り(ぷらとんぼ工作)



呉第三地区とんど祭り(コマ遊び)



昭和北小 放課後教室のぷらとんぼ工作

◆苦勞した点

- ①玩具工作の拡大に苦勞しました。
工作教室数やその受講者増は、材料、部品の調達からキット工作の下拵え加工、一時保管、治工具類の整備など、準備作業の増加の他、加工作業場所や保管場所にも苦勞しました。
- ②小学校等での工作玩具遊び体験が人気となり貸出玩具が300点を超えたことから、その製作や運搬、展示、遊び方の指導、定期的な見回り点検、修理、次会場への移動などに、多くの時間と労力を必要としました。またその費用負担も大きく捻出に苦勞しました。
- ③工作部品、材料の調達先の一つである100円ショップの品切れやモデルチェンジ、値上がり多発に開発モデルの設計変更など再々発生した。
- ④年度の後半は次年度の活動資金確保のための地域テーマ募金活動にも取り組みましたが、青壮会工作活動のPRに当初計画にない工作教室や作品展示遊びコーナーを実施するのに苦勞しました。
なお、募金活動が終了した現在も工作玩具の遊び体験コーナーは好評で10会場で継続中です。

◆今後の課題・発展の方向性

- ① 工作教室数の増加と充実
 - ・今年度からはじめた工作教室、呉アドベンチャースクール(3回実施)、昭和北小(1回実施、2回目5/18予定)はいずれもシニアボランティアの担当スタッフがおり子供たちへの指導体制が一応整った教室への参加であり今後の教室数拡大路線の事例となりうる効果的な工作教室が出来た。
 - ・玩具工作普及の加速には工作を必要としている対象グループを見つけ出して参加し、教室を継続することがポイントと考えます。したがって今後、あらためて市の教育委員会、ものづくり教育に熱心な公民館、学校などとの連携が必要です。次年度の活動に活かします。
- ② 工作玩具の貸出しによる遊び体験コーナーの展開
 - ・工作玩具の遊びコーナーは各会場とも好評ですが製作、点検保守、修理等に時間と費用の制約から一度説明会を開いて修理や自作をすすめるなどスタッフの労力軽減策も考慮しながら展開要。
- ③ 新型糸引きコマの開発
 - ・コマのタイムレースやコマ相撲(けんか)にはスケールアップが必要であり胴径:40mmの3分間まわるプラスチックコマの試作に成功しました。今後の工作教室の主力作品にすべく年間500個程度製作可能な治具の自作を含めた工作教室用の加工、組み立て方法の確立が課題です。

◆活動を終えての感想・意見等

- ・活動範囲拡大で仲間のボランティア意識高揚
新展開の放課後工作教室など市民協働による新たな工作教室では、その地元のボランティア仲間との協働作業が勉強になりました。市民協働で子供たちの指導に当たることで、お互が良いパートナーとして認めあい双方スタッフのボランティア意識の高揚につながりました。
- ・全国ボランティアフェスティバル(9/25、26)で青壮会に活動報告の機会が与えられ、貴重な体験をさせて頂くと共に、県共同募金会のH22年度地域テーマ募金の支援につながり感謝しています。
- ・H22年度の後半は、工作関連の活動と次年度活動資金確保のための地域テーマ募金とが同時進行となり大変多忙でした、特に東日本大震災の影響もあり募金が集まらず苦勞しました。
- ・私たちは今回の募金活動体験を通してマツダとその関連企業の社会貢献(青少年健全育成等への支援)に対する取り組みにあらためて感服しました。この3年間のご支援本当にありがとうございました。